

丹南農林だより

収穫の秋に向け、イノシシ、サル、ハクビシン対策を再確認！

8月1日(金)、サンドーム福井で農業者や農家組合長、区長の参加により、丹南地区鳥獣害対策研修会が開催されました。

基調講演では、近畿中国四国農業研究センターの井上雅央氏から、「イノシシやサルの被害が増えているのは、人間が餌付をしているから。野菜くずを畑や山に捨てれば、農作物のおいしさを獣に教えることになるし、稲刈り後の2番穂は、餌の乏しい冬場の栄養源になり越冬数を増やすのを助けている。餌付けを減らさない限り状況は悪くなります。」との厳しいお話。埼玉県農林総合研究センターの古谷益朗氏からはハクビシン、アライグマの特性とそれを利用した被害防止方法。また埼玉県が開発した被害防止柵「白落君」の設置マニュアルについて映像をまじえながら説明がありました。

また事例報告として、被害を出さないための周辺環境整備を中心に、鯖江市河和田東部で行われている「里山和牛放牧」と越前町熊谷での「山ぎわ対策モデル実証」について紹介がありました。管内でも地域ぐるみで獣害対策に取り組むところが増えてきています。

研修会の様子

農事組合法人 河端ファームの紹介

農事組合法人「河端ファーム」(代表理事：清水弘氏)は、本年2月、鯖江市上河端町で設立された集落営農組織です。組合27名、約46haの経営です。平成18年に任意組織で集落営農をスタートさせ、当初計画どおり2年で法人化にこぎつけました。水稻と大麦栽培が中心で、組織化により肥培管理が統一化され、集落内の生育が揃うようになってきました。水稻は直播栽培の比率が約48%と高いのが特長で、資材費の高騰が心配される中、生産費縮減を強く進めているところです。



河端ファームの清水代表(写真中)らと収穫始期について打ち合わせする普及指導員(左)

丹南農林総合事務所

越前市上太田町41-5 TEL(0778)23-4545

丹生分庁舎 越前町内郡14-36 TEL(0778)34-1790

URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/tan-noso/>

E-mail tan-noso@pref.fukui.lg.jp

平成20年9月16日

No.26



健康長寿な福井です。

第60回全国植樹祭

未来へつなごう元気な森 元気なふるさと



平成21年6月7日に福井市（一乗谷朝倉氏遺跡）で開催されます。

県では、第60回全国植樹祭に向け、積極的に山に入り、名木などの山の宝や自然とふれあう県民運動を展開しています。その一環として、この秋、南越地区では次のとおり関連事業が実施されます。皆様の参加をお待ちしています。

	林道マラソン&ウォーク in南越前町	フットパス体験会 in馬借(西)街道&in三里山	ふるさとの森整備 in三里山
日 時	平成20年11月9日(日) 9時～13時	平成20年10月12日(日) 8時～12時	平成20年11月2日(日) 8時～14時
会 場	今庄365スキー場 	・馬借(西)街道コース 越前市湯谷町 (坂口公民館集合) ・三里山コース 越前市戸谷町 (テクニカフクイ武生工場駐車場集合)	越前市戸谷町 (テクニカフクイ武生工場駐車場集合) 
内 容	マラソン 約13km ウォーク 約5km	広瀬町～湯谷町の馬借(西)街道 粟田部町～戸谷町間の遊歩道 歩くとともに歴史の説明	もみじ、なつつばきの植樹
募 集 人	各先着順 マラソン 300名 ウォーク 100名	各先着順 馬借(西)街道コース 80名 三里山コース 40ペア	特になし 
募 集 期 間	平成20年8月1日(金)～ 平成20年10月10日(金)	平成20年9月5日(金)～ 平成20年9月30日(火)	
応 募 方 法	○マラソン パンフレットにある郵便振替 用紙を利用 ○ウォーク 電話にて丹南農林総合事務所へ ☎0778-23-4545(内線291、292)	電話にて丹南農林総合事務所へ ☎0778-23-4545(内線284、295) 	主催 北新庄地区自治振興会 

※詳しい内容は丹南農林総合事務所 林業部におたずね下さい。

山を集団化・団地化し間伐しましょう!!



皆さんの山を1人ずつバラバラに整備すると、費用がかかります。そこで皆さんの山をまとめて団地化し整備しませんか？まとまって整備すれば、1人あたりの費用が軽減され、生産された材の販売も有利になります。団地化は皆さんの負担を少なくし、また、少しでも還元できるように取り組むことが期待できます。

小さい面積の山などをまとめて森林の施業を提案していく「森林の評価技術士」を当管内の森林組合で11名育成しました。すでに「森林の評価技術士」を中心とし、**山の団地化に積極的に取り組み始めている森林組合もあります。「森林の評価技術士」をどんどん活用し、儲かる林業につなげましょう!!**

詳しくは、最寄の森林組合または農林総合事務所林業部におたずね下さい。

大麦栽培について

1 排水対策

水稻収穫後、速やかに額縁排水を施工し、良い条件で播種できるようにしましょう。

大麦栽培する場合、水田の構造に反して排水対策を徹底する必要があります。特に水稻用の排水マスが高い場合は、排水口より下に転作用排水口を新たに設けたり、畦畔を切るなどして排水対策を徹底しましょう。（右写真）



2 土づくり資材でpHの矯正

大麦に適したpHは6～6.5です。

麦番頭60～80kg/10a または マグエース100kg/10a を施用しましょう。

3 元肥一括肥料の使用

南越管内では、元肥一括肥料のほうが高収量となる傾向にあります。

新大麦名人 40kg/10a

4 播種

収量と品質の面から10月10日～20日の晴れた日に行いましょう。播種量は、条播の場合6kg/10aを基準に播種時期に応じて加減しましょう。

水田の土づくりをしましょう

水田土壌では、酸性化、有機物含量の低下、ケイ酸の不足・減少などの問題が生じています（下図）。毎年の土づくりにより、生産性の維持、向上に努めましょう。

【土づくりの実践内容】

1 稲わらは必ず鋤きこむ。（堆肥1tの施用と同じ効果）

※地力の維持、耕うん時の碎土性の改善に不可欠。

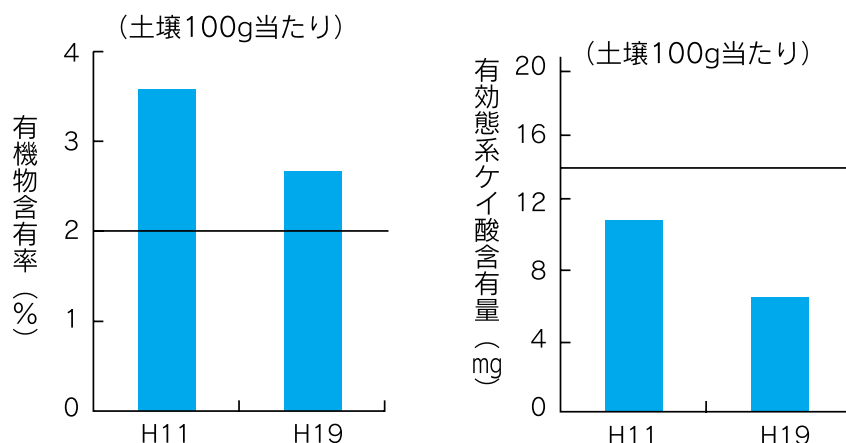
2 土壌調査を行い、アルカリ資材、ケイ酸資材を必要量散布。

※土壌酸性の改善により大麦、大豆の生育は向上。

※ケイ酸の増加により、稲の病害抵抗性が高まる。

3 鋤きこみは、収穫後早急に実施し、わら分解を早める。

※刈り株から稲が再生すると、いのしし、カラス等のえさとなり、次年度の獣害発生につながります。



◆お知らせ◆

県特別栽培農産物の生産登録を受けた皆様へ

申請内容を変更する場合は、事前に変更申請が必要です。詳しくは、丹南農林総合事務所農業経営支援部までお問い合わせください。

県特別栽培農産物の認証を受けた皆様へ

県特別栽培農産物の認証を受けた方は、実績報告書を提出いただく必要があります。栽培記録の整理など提出準備をお願いします。

○ご提出先：丹南農林総合事務所 農業経営支援部

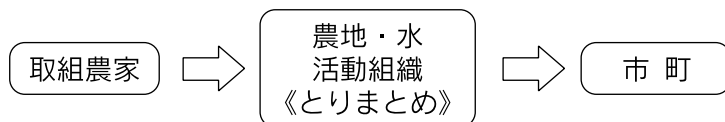
○提出期限：平成21年3月末まで

※団体申請の方は、該当ＪＡの指示に従ってください。

農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援)の対象の皆様へ

県特別栽培農産物の認証を受け、先進的営農支援の対象となっている方は、**県特別栽培農産物認証制度の実績報告とは別に**、生産記録を提出いただく必要があります。

【ご提出の流れ】



- ① 提出期限や生産記録以外に提出いただく書類等については、市町にお問い合わせください。
- ② 生産記録の様式は、県特別栽培農産物の実績報告書と同じです。
(ただし、池田町の「生命に優しい米づくり運動」「ゆうき・げんき正直農業」の認証を受けている方は池田町の定める様式となります)

消費者に安全・安心な農産物を、 提供しましょう！

◆できるだけ農薬を使わない工夫をしましょう

- ・害虫の発生源となる雑草の除去、防虫ネットの利用等

◆農薬の使用基準を必ず守りましょう

- ・ラベルに記載されていない作物には使用できません
- ・記載されている希釈倍率以上（薄い濃度）で使用しましょう
- ・10a当たりの使用量を超えてはいけません

◆農薬の飛散を防止しましょう

- ・飛散の少ない粒剤の使用や、風のない日に農薬を散布する
- ・飛散を少なくするノズルを使用する
- ・圃場の端では、畔から内側に散布する

◆散布器の使用後はきれいに洗浄しましょう

- ・以前使用した農薬が残っていると、次に散布する作物に基準を超えて残留することがあります



生産履歴管理（栽培日誌）記帳を行い、自分が生産した農産物の安全管理が説明できるようにしましょう。

鯖江市農地・水・環境対策協議会で生き物調査をしました!!

平成20年7月19日に経営体育成基盤整備事業 乙坂今北・落井地区で平成19年度に整備を行った農業用排水路において、生き物調査を実施しました。農地・水・環境保全向上対策に取り組む「乙坂今北を美しく保つ会」をモデル地区として行った調査には、他の活動組織の方も多数見学に來られました。調査の事前学習として、「乙坂今北に賑わう魚たち」と題して紙芝居を行ったり、生き物に配慮した水路の構造などを学びました。集落の方にも参加していただき、オイカワ、カワムツ、タモロコなどなど去年の調査時より2種増えた12種の魚が確認されました。



紙芝居



生き物調査



オイカワ

『県営地域用水環境整備事業 石田三ヶ用水地区』竣工

本年5月、鯖江市平井町において実施してきた県営地域用水環境整備事業 石田三ヶ用水地区が竣工しました。

石田三ヶ用水は、昭和39～45年にかけて建設されましたが、老朽化による漏水が著しく、水利用および施設管理に苦慮していました。

そこで、本事業により用水路を改修するとともに親水公園を新たに整備し、農業用水の安定供給と地域住民の水辺の環境保全に対する意識高揚を図りました。

用水路



親水公園



平成20年度 丹南農林総合事務所優良工事事業者所長表彰式

平成20年8月6日に今年の丹南農林総合事務所 優良工事事業者所長表彰式を行いました。

この表彰は、農林業の基盤整備と農山村地域の振興を図るために当事務所が発注した農林工事が対象で、平成18年度から設けられ、今回、高度な技術と創意工夫に心がけ環境の保全および調和に配慮するなど、優秀な成績を収めた次の事業者3社を表彰しました。



表彰式の様子

施工業者名	工 事 名	施工地係
田中建設(株)	平成18年度農業用河川工作物応急対策事業 中野地区 第1号工事	鯖江市 中野町
(有)平鍋土建	平成19年度治山激甚災害特別緊急工事	池田町 大本(中瀬谷)
(有)鯖江道路	平成19年度農道環境整備事業(広域) 朝日地区 第2号工事	鯖江市 川去町

今年もやっています！

若狹牛放牧による山際の獣害対策

(鯖江市河和田地区での若狹牛放牧による山際の獣害対策について紹介)



鯖江市の河和田東部地区の4集落で作る「河和田東部美しい山里の会」では、今年も6月21日から、若狹牛の放牧を利用した獣害対策に取り組んでいます。

今年は、去年と同様に林地を含んだ放牧を行いながら、近隣の林地の除伐を実施し放牧場所を広げていく予定になっています。また、この地区の4集落への移動放牧も行い、獣害対策や地域の環境整備にも役立てていくことになっています。

毎日の管理作業は、牛の健康状態と電気柵の漏電がないか、外れているところはないかを確認する必要があります。牛へ

のえさやりは、人が行った時に牛が寄ってくるよう毎日ほんの少しの濃厚飼料をやります。これらの作業は、当番を決め実施しています。さらに地元の人には若狹牛のファンがいて畔草を刈り取り放牧牛に給与したり、野菜の残りを給与したりして牛を可愛がってくれます。先日の移動時には、会員が、自らの裏山から切り出した竹を利用して、牛のために日よけを作ってやりました。若狹牛の放牧は、地元の人に可愛がられながら11月末まで実施予定です。

丹生分庁舎紹介コーナー

稲WCS(稲発酵粗飼料)で自給飼料の拡大を!!



越前町宮崎地区でWCS機械操作打合せ

世界的なトウモロコシ価格の急騰とその後の高止まりの影響で飼料価格が高騰しています。さらに最近では原油価格の高騰により移送経費が上がるなど畜産経営には強い逆風が吹き荒れています。そこで、水田を活用し、転作作物として自給飼料を確保する動きが強まっています。

丹南地区でも他地区に先駆けて一昨年から越前町で、完熟前の籾と茎葉をラッピングする稲WCS（稲発酵粗飼料）に取り組んでいます。稲WCSを粗飼料として与えている丹南地区の肉牛や乳牛も喜んで食べていて、低コスト自給飼料としてその役割が期待されています。

また、今年から池田町でも試験的に飼料用稲が栽培されました。越前町内の専用コンバイン・ラッピングマシンなどを活用することで機械の有効利用が図られ、双方にメリットある取組となっています。丹南地区として広域的な耕畜連携が進められるよう支援しています。

特産の竹を活用した「もり人づくり」

来年、福井県で開催される全国植樹祭の県民運動の一環として、越前町宮崎地区の子供たちが夏休み中に宮崎竹炭加工所で、炭焼き・竹とんぼ、水鉄砲づくり・パン焼きなどの体験会を3回開催しました。参加した子供たちからは、「特産である“竹”についていろいろ分かって良かった。」「竹とんぼづくりや水鉄砲づくりが楽しかった。」などの感想が寄せられました。



竹を使った水鉄砲づくりの様子